

# 米ドル高利回り社債 ファンド2017-03 (為替ヘッジなし)

【愛称：USAギフト(為替ヘッジなし)】

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：USAギフト無

2021年6月26日から2021年12月27日まで

第 **10** 期 償還日：2021年12月27日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

償還価額(償還日)	11,013円54銭
純資産総額(償還日)	284百万円
騰落率(当期)	+2.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

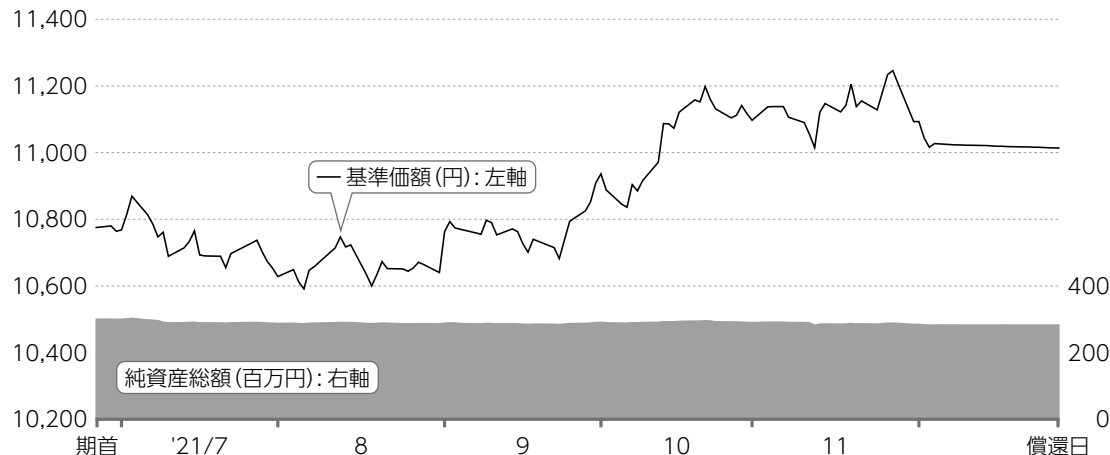
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

## 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

### 基準価額等の推移



期首	10,775円
償還日	11,013円54銭
騰落率	+2.2%

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

当ファンドは、米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12への投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債へ投資を行いました。

#### 上昇要因

- セクター別では、運輸サービス、メディア・娯楽、住宅建設などが上昇したこと
- 個別銘柄では、すべての保有銘柄がプラスに寄与したこと  
なかでも、借り換え計画が順調に進み期限前償還された海運会社のNAVIOS MARITIME ACQUISITION CORP、クーポン収入が寄与した通信・エンターテイメント・サービスのCSC HOLDINGS LLCや通信サービス会社のSPRINT CORP、ファンダメンタルズ(基礎的条件)が良好で好調な住宅市場が追い風となったKB HOME、財務状況が良好で業績も堅調だったレストランのYUM! BRANDS INCなどの個別銘柄がプラスに寄与しました。
- 米国の利上げに対する織り込みが加速したことや株価の上昇などによるリスク選好度の改善を背景に、米ドル高・円安となったこと

## 1万口当たりの費用明細(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	73円	0.669%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は10,891円です。
(投信会社)	(47)	(0.429)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(24)	(0.223)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	74	0.684	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

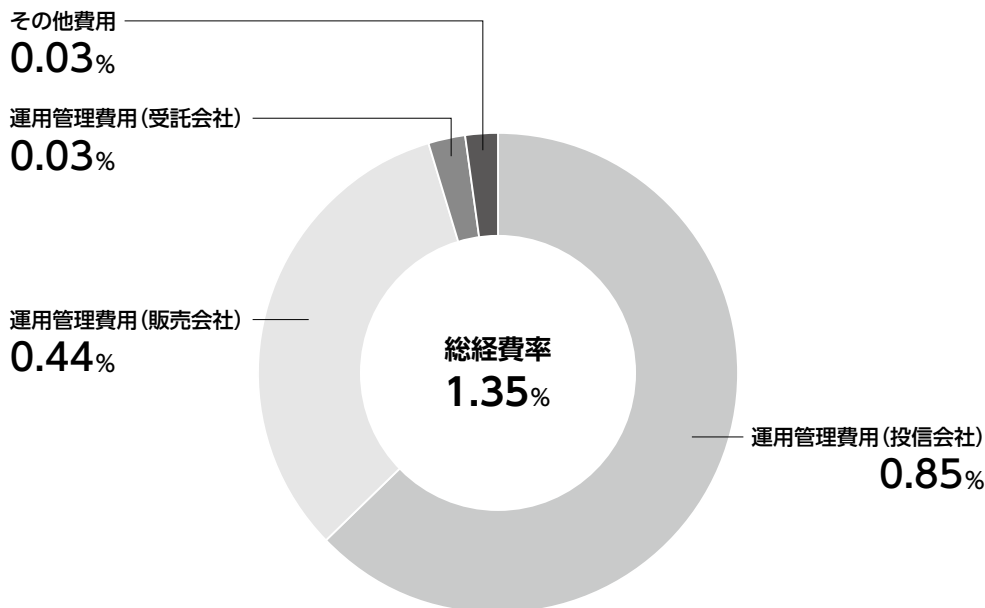
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

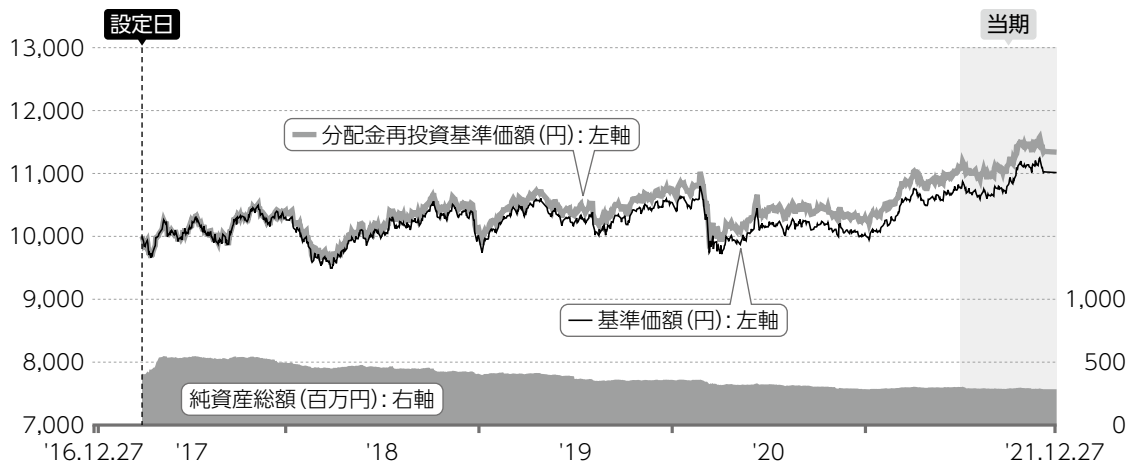
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.35%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2016年12月27日から2021年12月27日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2017年3月31日)以降の情報を記載しています。

## 最近5年間の推移



		2017.3.31 設定日	2017.12.25 決算日	2018.12.25 決算日	2019.12.25 決算日	2020.12.25 決算日	2021.12.27 償還日
基準価額	(円)	10,000	10,283	9,919	10,506	10,003	11,013.54
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	100	30	80	50	40
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	3.8	-3.2	6.7	-4.3	10.5
純資産総額	(百万円)	408	494	404	358	285	284

※2021年9月21日のシステム統合により、小数点以下の端数処理等、計算ロジックの一部が変更となっています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

米ドル高利回り社債市場はプラスのリターンとなりました。為替市場は円安となりました。

## 米ドル高利回り社債市場

期間の米ドル高利回り社債市場は、ベース金利である米国債利回りが上昇し、スプレッド(国債に対する上乘せ金利)が拡大したものの、クーポン収入の積み上げ効果によりプラスのリターンとなりました。リターン水準が抑えられた要因となったベース金利上昇の背景には、インフレ圧力の高まりなどからFOMC(米連邦公開市場委員会)においてテーパリング(量的緩和の段階的縮小)開始が決定されるなど、FRB(米連邦準備制度理事会)の金融政策の正常化が進んだことなどがあり、市場で利上げ前倒し観測が広がったことから中期ゾーンのベース金利が上昇し逆風となりました。スプレッドについては好調な企業業績などが下支えしていましたが、7月に感染力の強い新型コロナウイルス(デルタ型)の感染が拡大したことに加え、南アフリカで新たな変異ウイルス(オミクロン型)が見つかり、各国政府が警戒感を強め世界景気の回復への悪影響が懸念されたことなどが拡大圧力となりました。

## 為替市場

米ドル・円相場は、6月15日、16日のFOMCでのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な内容を受けて、期間の初めには米ドル高・円安となりました。7月から9月中旬にかけては、リスク回避的な動きが重石となり一進一退となりました。9月下旬には、米国金利の上昇を受けて米ドル高・円安となりました。10月は株価の上昇などリスク選好度の改善を背景に引き続き米ドル高・円安となりましたが、11月から期間末にかけては米国金利の動きに連れて一進一退となりました。

ポートフォリオについて(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

## 当ファンド

主要投資対象である米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12を期間を通じて高位に組み入れました。

## 米ドル高利回り社債マザーファンド 2021-12

コーポレート・アクションによる入金などを受け、ファンド償還までの期間を考慮し期近債であるSOUTHERN POWER CO、EASTMAN CHEMICAL CO、DEUTSCHE BANK AGなどを新規購入しました。また、KB HOME、NAVIOS MARITIME ACQUISITION CORP、YUM! BRANDS INCなどが期限前償還(コール)されました。

ベンチマークとの差異について(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2021年6月26日から2021年12月27日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。



## 3 お知らせ

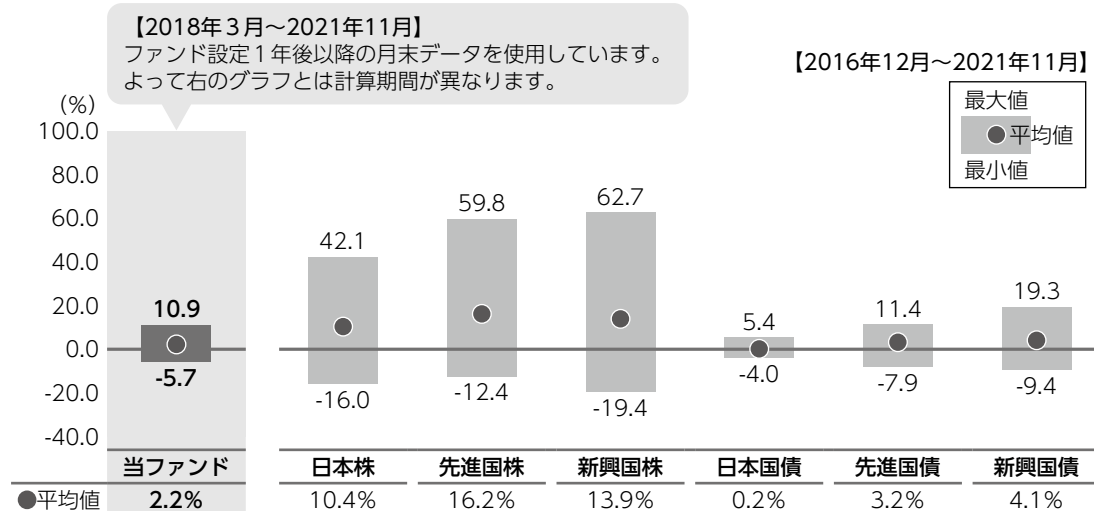
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2017年3月31日から2021年12月27日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、主に米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12</b> 主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債に実質的に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指します。</li> <li>■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシーへ委託します。</li> <li>■原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動による影響を受けます。</li> </ul>
組 入 制 限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> </ul> <p><b>米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年2回(原則として毎年6月および12月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2021年12月27日)

有価証券等の組入れはありません。

### 純資産等

項目		第10期末 2021年12月27日	
純資産総額	(円)	284,801,365	※当期における、追加設定元本額は0円、解約元本額は22,066,894円です。
受益権総口数	(口)	258,591,924	
1万口当たり基準価額	(円)	11,013.54	

## 7 償還を迎えて

当ファンドは、2021年12月27日に償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。